

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム V2.5.7 (2016) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東一社住宅 新築工事	階数	地上3F
建設地	愛知県名古屋市名東区貴船二丁目1701番	構造	RC造
用途地域	市街化区域、防火地域指定なし	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023/1214
敷地面積	3,682 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,053 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,336 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 91%  
③上記+②以外のオンサイト手法 91%  
④上記+オフサイト手法 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.2)

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
断熱等性能等級で等級4を計画し、付加価値を設けた。		
Q1 室内環境 特に無し。	Q2 サービス性能 配管の主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級4を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

東一社社宅 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.9</b>
LR1	エネルギー	4.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.3	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>2.3</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>2.4</b>
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

## 結果

### 1. 温暖化対策

評価点 = 3.9



### 2. 自然共生

評価点 = 2.3



### 3. 循環型社会

評価点 = 2.4



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。